

様々な国籍・多様な文化を持つ 人々が暮らしています

越谷市には2025年4月1日現在、
9,437名の外国の方が暮らしています。
市内の全ての小中学校に、
外国にルーツを持つお子さんが
通学しています。
また、市内にモスク(イスラムの人の礼拝堂)や
アフリカ系の教会があるのは
ご存じでしょうか。
ご近所の外国の方に声をかけたいけれど、
何をしたらよいのか…と、
思ったことはありませんか？
言葉の壁があっても、大丈夫！
私たちと一緒に、
あなたのできることから始めてみませんか。



私たちと一緒にできること

1 「にほんごサロン」で多様な 文化を知ることができます



写真の「にほんごサロン」は、外国人と日本人が日本語でコミュニケーションを取る場所です。外国語が話せなくても、相手の文化や習慣に興味を持ち、笑顔で話せば言葉の壁はなくなります。ジェスチャーでもOK！まずは、おしゃべりを楽しみましょう。



にほんごサロンの様子

2 多文化共生について 学べます



多文化理解の講座では「日本語の教え方」や「やさしい日本語の使い方」など、多文化共生に役立つ学びの場を提供しています。外国の方と仲良くなるコツと一緒に学びましょう。

あなたの小さなサポートが、
誰かの「チカラ」になります！

3 イベントに参加すると 交流が深められます



各国の文化を紹介するイベントは大人気です。毎年「越谷市民まつり」をはじめ様々なイベントで外国の文化を紹介しています。また、外国の方と一緒に日本のお祭りに参加したり、各国の料理教室を開催したりしています。スポーツを通じての交流には言葉はいりません。どんな方でも入りやすい多文化への入り口です。



元荒川での
お花見に参加

4 言葉の壁で困っている人を サポートできます



一人一人が出来ることはたくさんあります。宗教上、食べ物に制限がある人にとって、日本語が分からないと大変です。日本は災害が多い国です。日本語の防災無線が分からない人がいるかもしれません。そんなとき、「やさしい日本語」で彼らをサポートできます。また、外国の子どもたちの中には、日本語の壁と学習の壁を感じている子もいます。ひらがな、カタカナを教えたり、一緒に教科書を読んだりしてもいいでしょう。みんなの力が集まれば、大きなサポートができます。



「コスモこども教室」は
外国にルーツを持つ
小中学生の居場所です